

弘前大学と化粧品メーカー「ラビプレ」(弘前市)が共同研究で開発した「白神の森乳酸菌」配合の商品第1号が誕生した。自然派食品ストア「タマチャンショップ」を運営する九南サービス

(本社宮崎県都城市)が発売した「こなゆきコラーゲン(プラントベース)」で、世界初となる白神山地由来の乳酸菌を配合した植物性100%のコラーゲン粉末として注目を集めている。(石岡由美子)

弘大と「ラビプレ」(弘前)共同開発の乳酸菌

「白神の森」第1号商品

こなゆきコラーゲン 美と健康サポート



新商品に配合されているのは「白神の森乳酸菌」8菌株で、白神山地に自生する樹木「キハダ」から分離した新規乳酸菌。研究で、肥満によって起こる肝臓での炎症を予防する働きがあることが示唆され、肝機能改善の機能性で特許を取得している。

「こなゆきコラーゲン(プラントベース)」は、九南サービスの人気コラーゲンパウダー「こなゆきコラーゲン」シリーズの一つとして、11月1日に発売された。動物性成分を一切使用せず、

プロックリーとニンジンから抽出した高吸収型のコラーゲンペプチドを採用。世界初となる白神山地由来の乳酸菌とバラブラセンタを配合し、美と健康をサポートする製品となっている。

同社は「国内産の植物性乳酸菌」という点にこだわって探していた中で出会った。第1号商品として発売させていたたくことで応援し、ひいては自然保護につながるという背景にも賛同し食品屋としても貢献したい」としている。

ラビプレの三浦和英社長は「弘前大学と協働で企画開発を進めてきた『白神の森乳酸菌』の配合商品第1号で、とても感慨深い。今後より多くの方々の健康増進に寄与できる食品作りを進めていきたい」としている。

「こなゆきコラーゲン(プラントベース)」は100円入り3500円(税込込み、送料無料)。タマチャンショップ公式オンラインストアなどから購入できる。新

発売を記念し、16日まで2980円(同)で販売する特別セールを実施中。

この画像は、当該ページに限って”陸奥新報”の記事利用を許諾したものです。転載ならびにページへのリンクは固くお断りします。